

子実用とうもろこしの地域内流通（加須市）

1 市町村

加須市

2 取組主体

株式会社 山中農産

3 取組開始年

令和4年

4 取組内容

(1) 導入作物（導入面積・選定した理由）

飼料作物の種類：子実用とうもろこし

導入面積：約16ha（令和5年度）、約20ha（令和6年度）

選定した理由：子実用とうもろこしは、主食用米や麦等に比べて労働時間が極めて短く、時間当たりの所得が高水準であり、限られた時間で規模拡大が有効であること、麦、大豆との輪作において子実用とうもろこしを導入することで収量増が期待できるため。

(2) 販売先

同市内の養豚農家

(3) 排水対策

水はけがよく、地下水位の低いほ場の選定をするとともに明渠、暗渠施工を行っている。

(4) 工夫した点

4月播種のとうもろこしにアワノメイガ対策として令和5年5月に新たにドローンに適した農薬に追加登録された殺虫剤を6月にドローンで散布した結果、令和5年に比べてアワノメイガによる被害はかなり軽減された。また、春に播種する面積を大幅に増やし、6月の雨季に天候不順による作業の停滞を避けようと工夫した。

(5) 今後の計画

排水対策が不十分であり、播種時の雨の影響による発芽不良がみられ、結果として収量が減少した。来年度はさらなる排水対策の強化により、収益性の向上を図る。